

新潟県

## 教育月報 5 月号

第 909 号

令和 8 年 5 月 8 日発行

編集人、発行人

新潟県教育委員会

## &lt;今月号の記事&gt;

対象校種

1: 教育ニュースライン	P 1	全種
2: 実践力向上研修、要請訪問研修、相談支援について	P 2-4	全種
3: カーボンゼロ実現に向けた普及啓発、カーボンニュートラル教育の推進について	P 5-6	小中
4: ラ・ラ・ネット	P 7	小中
5: 埋蔵文化財を活用した高校生向け出前授業について	P 8	高校
6: 子どもたちの未来を育む国際理解教育	P 9-10	全種
7: インフォメーション	P 11-13	全種

## 教 育ニュースライン

県教育に関する最新ニュースをお知らせします。

### 「新潟県立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定しました

昨年の 6 月、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律」が公布されました。いわゆる給特法の改正です。

この法律は、学校教育の質の向上に向けて、教師に優れた人材を確保する必要があることに鑑み、学校における働き方改革の更なる加速化、組織的な学校運営及び指導の促進並びに教師の処遇改善を一体的・総合的に進めるための措置を一括して講じたものです。この法律に基づき、県教育委員会では、文部科学省が定める指針に則して、「新潟県立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」を今年の 3 月に策定しました。

本計画の期間は、令和 8 年度から令和 11 年度の 4 か年です。この計画期間に達成を目指す目標として、1 か月時間外在校等時間が 45 時間超の教育職員の割合を、県立高校・中等教育学校では、令和 6 年度に 23.4%であったものを、令和 11 年度に 6.7%とすることなどを掲げています。教育職員が健全な心身を保持し、意欲的に教育活動に取り組める環境を整え、生徒の学びの質を高め、教育の充実を図ってまいります。

## 【具体的な取組】

- ①「学校と教師の業務の 3 分類」を踏まえた業務の見直し  
→外部人材や ICT などの活用により、事務作業や部活動の負担を軽減します。
- ②「県立学校における教員の勤務時間の上限に関する方針」を踏まえた業務の見直し  
→会議の精選、学校閉庁日の設定などにより、長時間勤務を防ぎます。
- ③学校における措置の推進  
→勤務時間外の電話対応の工夫、PTA 活動の適正化などを進めます。
- ④教育職員の健康及び福祉の確保に関する取組  
→メンタルヘルス対策や、長時間勤務者の医師面談などにより、教職員の心身の健康を守ります。

「新潟県立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」はこちら  
<https://www.pref.niigata.lg.jp/>

sec/kotogakko/  
gyoumuryoukanri.html





# 実践力向上研修、要請訪問研修、相談支援について

県立教育センター

## はじめに

県立教育センターでは、基本研修や専門研修のほかに、実践力向上研修、要請訪問、相談支援を行っています。

本号では、その概要と令和 7 年度の実施状況を紹介します。

## 実践力向上研修

### 1 概要

実践力向上研修は、各学校・園の実践的な指導力向上のため、学校・園の要望に応じて指導主事を当該校・園に派遣し、授業実践をもとにした校・園内の研修を支援するものです。指導主事の派遣に係る旅費は当センターが負担します。なお、希望によりオンラインでの研修も可能です。

本研修は「教科指導」「特別支援教育」「教育相談」等に関して、学校・園が課題とすることや深めたいテーマについて講義、指導助言等を行い、指導力を高めます。

申込み方法等については、当センター Web サイト「教育センターの研修」を御覧いただくか、当センター教育研究班（025-263-9028）にお問い合わせください。

ここでは、令和 7 年度の実践力向上研修で実施した中学校、特別支援学校、高等学校における事例を紹介します。

### 2 中学校

(技術・家庭科)

(1) 受講者 佐渡市中学校教育研究会会員  
(技術・家庭科)

#### (2) 研修内容

「令和 7 年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会」の伝達内容を中心に、技術分野と家庭分野それぞれの学習指導や授業改善について講義を行いました。また、今後

の技術・家庭科の動向についての情報提供を行った後、受講者同士で、技術・家庭科の指導やこれからの技術・家庭科の在り方についての協議を行いました。

### (3) 受講者の感想

- ・現在の技術・家庭科の課題が、根拠をもとに明確に示されていました。それを受けて、今後どのような視点で教科の在り方を考えていけばよいか、勉強になりました。また、とても分かりやすい講義資料をいただき、今後の動向にアンテナを張って備えていきたいと感じました。
- ・実習や実験の結果に違いがあることはよいことであり、その違いが何なのかを次の学びにつなげることが大切だということを学びました。また、学習指導要領の目標が目指す山だとすると、生徒の実態や扱う題材、内容ごとに登山ルートを考えることが授業改善につながるという、登山に例えた説明が分かりやすかったです。今後の実践につなげようという意欲がわきました。
- ・協議会では、他の先生方の意見をお聞きすることで、多面的に考えることができました。また、授業づくりで 1 番大切な部分について説明いただき、勉強になりました。
- ・深い学びに至るための大切なポイントを逃さず、見取る力が必要だと思いました。また、最新の情報を知ることができ、有意義な研修になりました。家庭分野の話も聞けて、とてもよかったです。

### 3 特別支援学校

(強度行動障害の理解と支援)

(1) 受講者 長岡市立総合支援学校及び

長岡市立高等総合支援学校職員

#### (2) 研修内容

他害や自傷、物を壊す等、自身の健康を損ねたり周囲の人の生活に影響を及ぼしたりする行為が著しく高い頻度で起こる状態を強度

行動障害と言います。

本研修では、強度行動障害について正しく理解し、適切な支援ができるよう講義を行いました。特に支援については、予防的な支援や本人が現在できていること（強み）を生かす支援、組織的な対応の重要性、やむを得ず危険な行動を制止する際の注意点等について具体的に共有しました。

### (3) 受講者の感想

- ・強度行動障害の誘発を予防することが重要であるという言葉が印象に残りました。学習環境や支援を見直していきたいと思いました。
- ・「不適切な行動を止めさせる」のではなく、「より社会的に許容できる行動にシフトする」という考え方を意識して、日頃の支援を続けていこうと思いました。
- ・日々、目の前の児童生徒の支援で余裕をなくしがちですが、講義を聞きながら、今までの支援でよかったと再確認したり、うまくいかなかった原因を振り返ったりすることができました。余裕のないときこそ笑顔で児童生徒に接していきます。
- ・強度行動障害の対応は心が折れそうになるときもありますが、支援や対応がうまくいったときの喜びも大きいです。うまくいく、いかないに関わらず、何ができるか、できそうかを考えることやチームで対応することの大切さを改めて感じました。

## 4 高等学校

### (様々な特性のある生徒への支援)

(1) 受講者 県立十日町総合高等学校職員

### (2) 研修内容

様々な特性のある生徒への理解を深め、適切な支援につなげるための効果的な指導方法について講義・演習を行いました。障害を「社会モデル」で捉える視点を軸に、特別支援教育の現在の状況を理解し、発達障害についての知識を深めました。また、適切な実態把握の必要性について考えるために、発達障害に関する疑似体験を行いました。さらに、授業のユニバーサルデザイン化の考え方に基づいた具体的な環境づくりと集団支援について考えました。

### (3) 受講者の感想

- ・合理的配慮の提供や環境整備の大切さを再認識することができました。色々な活動が当たり前に行えるような学校環境を整備したいと思います。
- ・職員同士で協力して、授業のユニバーサルデザイン化を進めていきたいと思いました。生徒の個性を生かすために、ポジティブな関わり方を大切にして、温かい場所を作っていきたいです。
- ・演習課題を通して、障害に対する理解が深まったと感じました。障害のある生徒に対して、日頃から意識をして支援をしていきたいと思いました。
- ・今まで「そこまでの支援の必要性があるだろうか」と考えていた事柄も、集団において1人も取り残さないという目的を鑑みれば必要なことだと、考えを改めるきっかけとなりました。

## 5 高等学校

### (いじめの予防について)

(1) 受講者 県立新津南高等学校職員

### (2) 研修内容

本研修では、いじめ予防の重要性を確認するとともに、予防活動に取り組む際に大切にすべき視点について講義を行いました。その後、いじめの予防活動として実際に考えられる取組について、グループで協議しました。

協議の中で出された意見を全体で共有することで、日常の何気ない生徒とのやりとりや声かけが、いじめの予防につながることを改めて確認し、今後の指導に生かしていくことの重要性を共有しました。

### (3) 受講者の感想

- ・グループワークを中心とした研修で、自分の考えを共有しながら結論を導き出す過程がとても充実していました。
- ・いじめ予防は「心の居場所づくり」と「きずなづくり」の二つの視点が大切だということが分かりました。この二つの視点を意識しながら、日々の実践に取り組んでいきたいと思います。
- ・これまで、いじめ対応というと事後対応に偏りがちでしたが、研修を通して、改

めて予防活動の重要性に気付くことができました。今後は日々の授業内容を見直し、いじめ予防につながる生徒との関わりを大切にしていきたいと思えます。

### 要請訪問

学校・園及び教育機関の要請に応じて指導主事が現場を訪問し、研修会の講師や研究協議会の委員等として指導助言を行います。

対象分野は特に定めず、依頼先の要請に幅広く対応しています。

【対象】 県立学校、市町村立学校・園（新潟市の学校・園は除く）、市町村教育委員会、教育関係研究会等の要請による教職員の研修等

【内容】 各教科・領域等に関わる全般  
※ 幼児児童生徒を対象とする授業等は対象に含みません。

【時期】 随時

【申込】 電話で教育支援課長に依頼後、所長宛に派遣依頼文書を提出する。

【電話】 025-263-9033

【経費】 派遣する指導主事の旅費は要請団体の負担となります。

### 相談支援

いじめ・不登校、生徒指導上の問題や、特別支援教育、心身の健康教育等、教育上の様々な悩みごとについて、電話や来所、出前相談の形態で相談支援を行っています。

【対象】 幼児、小学生、中学生、高校生及びその保護者や学校園の教職員等

【相談日】 月曜日から金曜日（祝日、年末年始、お盆の時期を除く）

#### 1 いじめ・不登校等教育相談

○いじめ・ふとうこう等なやみごと相談テレフォン（電話のみ）

【電話】 025-263-4737

【受付】 午前 9 時 10 分～午後 4 時

#### ○教育相談

幼児児童生徒の教育上の様々な悩み

【電話】 025-263-9029（教職員）

025-261-0410（本人、保護者）

【受付】 午前 9 時～午後 5 時

#### 2 特別支援教育相談

特別支援教育に関わる様々な悩み

【電話】 025-263-9030

【受付】 午前 9 時～午後 5 時

#### 3 心身の健康教育相談

○ほけんしつハートダイヤル（電話のみ）

心身の健康問題に関する悩み、保健室執務、健康教育に関する支援や情報提供

【電話】 025-263-9032

【受付】 午前 9 時～午後 5 時

※ 来所相談は、事前の予約が必要です。相談したい分野の電話番号におかけください。

※ 出前教育相談（教職員対象）は、事前の予約が必要です。相談希望日の 2 週間前を目安に、相談したい分野の電話番号におかけください。

### おわりに

各学校・園が教育目標を具現化するためには、自校の教育課題を明確化し、課題解決に向けて組織として取り組むことが大切です。県立教育センターは、今後も、学校・園の希望を踏まえ、各校の実情に応じて校内研修を支援します。県立教育センターの研修支援と相談支援を是非御活用ください。

[お問い合わせ]  
県立教育センター  
電話 025-263-1094（代表）

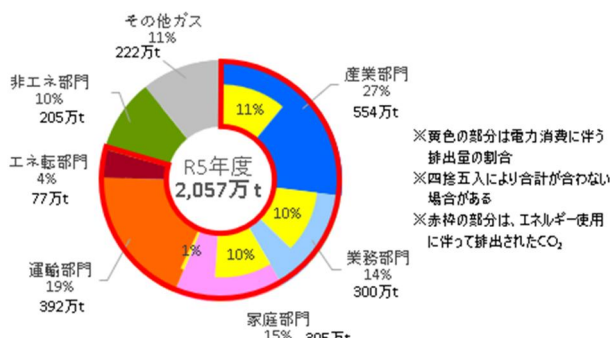
# カーボンゼロ社会の実現に向けた普及啓発とカーボンニュートラル教育の推進

新潟県環境局環境政策課

## はじめに

県では、2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロの実現に向け、県全体で取組を加速化するため「新潟県脱炭素社会の実現に関する条例」を制定し、令和7(2025)年4月1日に施行しました。条例では、県、県民、事業者の責務等を規定するほか、県民や事業者の具体的な取組を努力義務として規定しています。

県内の温室効果ガス排出量は減少傾向にありますが、部門別排出量の内訳を見ると、産業部門からの排出が最も多く、次いで運輸、家庭、業務部門の順となっています。また、排出量の約8割がエネルギー使用に伴って排出されたCO<sub>2</sub>で、電力使用に由来するCO<sub>2</sub>が全体の約3割を占めています。



【部門別排出量の内訳】

脱炭素社会の実現に向けては、あらゆる主体が自らの責任と役割を認識し、オール新潟で脱炭素化に向けた行動を実践することが重要です。

このため、県では事業者の脱炭素経営への転換に向けた取組や県民の脱炭素型ライフスタイルへの転換に向けた取組を行っています。

## 脱炭素型ライフスタイルへの転換に向けた取組

県では、2050年カーボンゼロの実現のため、県民の脱炭素型ライフスタイルへの転換に向けた取組をわかりやすく情報発信しています。

## 1 こどもエコチャレンジ

小学生を中心に、7日間の省エネ・省資源行動に取り組むプログラムです。

参加した児童からは、電気の使い方や食品ロスの見直しなど、家庭での気づきにつながったという報告があり、生活の中で行動を振り返る契機となっています。(今年度も6月中旬から開始予定です。)



## 2 にいがたゼロチャレ30

県民一人ひとりが生活の中でできる30の取組を「にいがたゼロチャレ30」として周知し、県民のみなさまに実践を呼び掛けています。

ホームページでは、各取組によるCO<sub>2</sub>削減量や節約額の目安を確認できるツールも整備しています。



【あなたのゼロチャレ30チェック (脱炭素ポータルサイト)】

<https://niigata-2050-zerocarbon.jp/challenge30-checktop/check/>

## 3 ゼロチャレ30士による普及啓発

大学生等で構成される普及啓発チーム(ゼロチャレ30士)が、地域のイベント訪問やワークショップなどを通じて脱炭素行動を呼びかける取組です。若者の視点を生かした活動が広がっています。



【ゼロチャレ30士】

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kankyo/0672843.html>

#### 4 脱炭素ポータルサイトの活用

また県では、脱炭素に関する情報を分かりやすくまとめた「脱炭素ポータルサイト」を開設しています。県の施策や普及啓発事業、家庭でできる取組など、さまざまな情報を一元的に掲載しており、県民や事業者が必要な情報にアクセスしやすい環境を整えています。学校教育においても、授業の題材や地域学習の参考として活用できる情報も掲載されています。



新潟県  
脱炭素ポータルサイト



【新潟県脱炭素ポータルサイト】

<https://niigata-2050-zeroarbon.jp/>

#### カーボンニュートラル教育の視点

脱炭素化に向けた社会の動きが進む中で、気候変動やエネルギーに関する理解を深める学びの重要性が高まっています。地域の温室効果ガス排出状況や再生可能エネルギーの導入状況、生活における省エネルギーの取組など、身近な事象を手がかりに考えることができる題材は多くあります。

#### 1 科学的な理解を深める学び

本県を含む北陸地方の家庭部門の温室効果ガス排出量では、照明・家電、暖房、給湯といった用途の割合が大きいことが示されており、気候変動の仕組みや温室効果ガスの排出源を理解する際の具体的な材料になります。こうしたデータを使うことで、エネルギーと環境の関係を科学的に整理しながら学ぶことが期待できます。

#### 2 行動の効果を実感できる学び

県が示している「ゼロチャレ 30」や、省エネ行動による温室効果ガス削減量の例（冷蔵庫の開閉時間を短くする、暖房器具の使い方を工夫するなど）は、日常の行動が環境にどのように影響するかを実感できる題材です。自分の行動がどれだけの効果につながるのかを数値で確かめられるため、学びと実践が結びつきやすくなります。

#### 3 地域とつながる学び

県内では、再生可能エネルギーの導入や省エネ、森林整備など多様な脱炭素化の取組が進めてられており、総合的な学習の時間等地域課題を自分ごととして考えるきっかけになります。

#### 県内の取組と学びの広がり

前述のとおり、脱炭素に関する理解を深めることは、日常生活における行動変容の実践や、地域の資源を生かした活動など、学びと様々な接点を持つ要素が多く含まれています。

また、脱炭素に関連する取組としては、省エネ行動の実践、食品ロス削減、再エネ設備の見学、森林や里山の保全活動及び若者による地域での啓発活動など、多様な取組が展開されています。

気候変動の影響が県内でも顕在化していることから、地域の状況を踏まえた理解や実践の機会が今後さらに重要になると考えています。

なお、県では、子どもたちが身近な環境への興味・関心を高め、環境を保全しようとする心を育むとともに、環境を意識した行動のきっかけ作りのため、小中学生を対象にポスターコンクールを実施しています。今年度も現在募集中です。



【令和 8 年度作品募集ページ】

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kankyo/20260410hozenposter.htm>

#### おわりに

脱炭素化に向けた社会全体の動きは、地域の暮らしや産業、そして環境の将来像と深く関わっています。県内で進む普及啓発や地域の実践は、身近な生活や地域の課題を理解する手がかりとなり、持続可能な社会づくりに向けた視点を育む基盤となっています。こうした動向を踏まえ、地域の実情に応じた学びの充実が今後さらに期待されます。

【お問い合わせ】

新潟県環境局環境政策課 カーボンゼロ推進室  
電話 025-280-5642 (直通)

# 新潟県生涯学習情報共有サイト「ラ・ラ・ネット」 について

県立生涯学習推進センター

## はじめに

県立生涯学習推進センターでは、新潟県生涯学習情報共有サイト「ラ・ラ・ネット」を運営しています。学校でも活用いただける情報も数多く掲載しています。今回は、学校で使える「ラ・ラ・ネット」のコンテンツについて御紹介します。



<https://www.lalanet.gr.jp/>  
【ラ・ラ・ネット トップページ】



## ラ・ラ・ネットのコンテンツ紹介

### 1 指導者情報データバンク

講演会や研修会、学校行事、授業などで、呼びびたい指導者・講師をインターネット上で検索することができます。児童生徒への指導から教職員向けの研修、PTA行事まで様々な分野の方が登録をしています。当センターに御連絡いただきますと、指導者の方の連絡先をお伝えする形で支援をしています。

また、「〇〇の研修の講師を探している」「研修会の進め方で迷っている」という相談も、当センターの社会教育主事が、解決に向けてサポートいたします。活動に行き詰まったとき、新たな取組を行ってみたいときは、お気軽に当センターに御連絡ください。

### 2 視聴覚教材データバンク

当センターでは、DVDやVHS等の視聴覚メディア、BD/DVDプレイヤーやプロジェクター、スクリーン等の視聴覚機材の貸

出を行っています。県内の学校の場合は事前登録の必要がなく、無料で借りることができます（配送の場合は別途送料が必要です）。ラ・ラ・ネットでは、所蔵している視聴覚メディアの情報の検索から、貸出申請までを行うことができます。

16mm 映写機	2台	プロジェクター	12台
VHS ビデオデッキ	1台	スクリーン	4本
VHS 一体型 DVD プレイヤー	1台	16mm フィルム	645本
BD/DVD プレイヤー	2台	ビデオテープ	4,255本
OHC	3台	DVD	1,460本

【貸出用機材・教材現有数（4月1日現在）】

### 3 生涯学習資料

当センターの広報紙「生涯学習 Niigata」や「NEWS LETTER」のバックナンバーを公開しています。家庭教育や地域連携に関わる情報、トレンドワードなど多岐にわたる内容を発信しています。新たな視点や知識の獲得、スキルアップの機会にいかがでしょうか。

### 4 県内市町村の生涯学習情報

令和 8 年 3 月に公開したコンテンツで、県内 30 市町村の講座やイベント等のページに地図からアクセスできるリンク集です。学校周辺の地域でどんなイベントや講座が行われているのか、地域にどんな指導者・講師がいるのかなど、総合的な学習、探究学習のヒントになる情報がこちらから探せます。

## おわりに

この他にもラ・ラ・ネットには様々な情報が掲載されています。新しい時代の学校運営に、ラ・ラ・ネットをぜひ御活用ください

【お問い合わせ】  
県立生涯学習推進センター  
電話 025-284-6110





## 埋蔵文化財を活用した高校生向け出前授業について

### 観光文化スポーツ部文化課

#### はじめに

県文化課では、郷土の貴重な宝である文化財を守り、伝えることを大切に思う心を育むため、埋蔵文化財を活用した高校生対象の出前授業を実施しています。また、出前授業を通じ、新潟県の埋蔵文化財（遺跡）や史跡、考古学や歴史学の魅力を知る機会を提供することで、キャリア教育の推進にも寄与できればと考えています。

本号では、出前授業について紹介します。

#### 授業の内容

出前授業では、文化財調査員が講師となり、新潟県内における発掘調査の最新の成果や郷土の遺跡・遺物（石器や土器等）を基に、新潟県の歴史や文化を分かりやすく解説します。主に旧石器時代～戦国時代を対象に、新潟県の歴史・文化の特徴や、普段は博物館のケースに収められていて触れることができない「本物の土器・石器」を実際に手に取ってもらい、一緒に観察し、見どころも解説します。授業は複数の基本メニューを用意しており、学校の要望に応じて適宜アレンジしながらの実施も可能です。

#### 出前授業の基本メニュー

- ◇ 縄文土器から分かること
- ◇ 縄文・弥生時代の精神世界
- ◇ 先史時代の日本海交流
- ◇ 古代人の暮らし
- ◇ 地域に残る知られざる新潟の古代
- ◇ 甦る！新潟の古代荘園
- ◇ 甦る！新潟の古代のみち
- ◇ 文化財調査員の仕事
- ◇ 発掘調査から分かる地域の歴史

※上記以外でご希望の内容がありましたら  
ご連絡・ご相談ください

遺跡から出土した遺物等の歴史資料に触れながら、通常授業の発展や補足として活用するほか、「文化財調査員という仕事」ではキャリア教育と組み合わせた総合学習も可能です。幅広く御活用ください。

県文化課ホームページでは、出前授業申込書や過年度の実施状況を掲載しております。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/bunka/maizou-demae.html>

【県文化課ホームページ】

なお、令和 7 年度は、新潟江南高校の合計 131 名の生徒を対象に出前授業を実施しました。「自分の生活している場所の歴史を知れておもしろかった。」「本物をさわることが楽しかった。」といった声をいただきました。



【新潟江南高校 (R7. 8. 28・29)】

#### おわりに

当課では、今後も埋蔵文化財を活用した出前授業を通じて、魅力ある新潟県の歴史や文化を知る機会を提供していきます。そして、若い世代の郷土愛を醸成し、文化財保護に携わる人材が育つことを期待しています。

授業の内容については、御要望に応じて柔軟に対応しています。詳細については、当課埋蔵文化財係までお問い合わせ下さい。

観光文化スポーツ部文化課 埋蔵文化財係  
Tel 025-280-5620



# 子どもたちの未来を育む国際理解教育

公益財団法人新潟県国際交流協会

## 新潟県の現状と国際理解教育

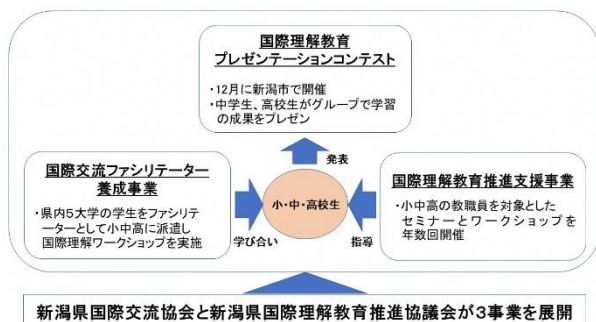
国際情勢が不安定さを増す現代においても、世界は経済・人の移動・情報・文化の面で相互に深く結びついており、地域社会もその影響から無縁ではありません。

また、現在約 2 万 7 千人の外国籍住民が新潟県内の全市町村で暮らしており、地域社会ではもちろんのこと、学校現場においても多様な背景を持つ人々や異文化との接点が着実に広がっています。こうした状況において、子どもたちが国際社会の一員として生きるための力を育む国際理解教育の重要性が一段と高まっています。

## 国際理解教育のサイクル

相互依存が進む世界や、多文化化が進む国内の地域で、社会課題に正面から向き合い、他者を理解し協働できる力は、地域の安定と未来の発展を支える基盤となります。新しい文化を創造する人材を育てていくため、新潟県国際交流協会では、かねてから学校現場での国際理解教育の推進に力を入れてきました。

新潟県教育庁をはじめとした行政機関や大学、国際交流・協力団体等によって組織された「新潟県国際理解教育推進協議会」と連携し、子どもたちの主体的で深い学びをより効果的に実施するため、3つの事業を有機的に結びつけた国際理解教育推進のサイクルを展開しています。



### 1 国際交流ファシリテーター養成事業

5 大学（新潟国際情報大学、敬和学園大学、新潟

県立大学、上越教育大学、新潟大学）と連携し、県内の小・中・高等学校で国際理解に関するワークショップを行う学生ファシリテーターを育成しています。

学生は大学内での研修や 5 大学合同セミナーを通じて、国際理解に対する深い理解やワークショップを実施する技術等を習得し、新潟県国際交流協会の委嘱を受けて各学校でワークショップを行います。

このワークショップは、参加者全員で現代世界の構造や多様性などを理解するほか、課題解決へのプロセスを考える参加型の学習形式です。国際理解教育はもちろん、テーマによってはキャリア教育や人権教育、環境教育等の領域にも対応しています。

事業開始から 20 年を経て、かつてワークショップを受けた児童生徒が、大学生になってファシリテーターとして戻ってくる例もあり、持続的な学びの循環が生まれています。

昨年度は小・中・高等学校の延べ 28 校に派遣し、「授業に活用できる要素があった」と多数の教員から評価をいただきました。今年度は令和 8 年 9 月及び令和 9 年 2 月に実施予定です。募集要項は 6 月末～7 月頃に公開予定です。詳しい概要についてはこちらをご覧ください。



ファシリテーター事業

<https://www.niigata-ia.or.jp/education/>



【小学校低学年から高校生まで対象】

## 2 国際理解教育プレゼンテーションコンテスト

国際平和や国際的な社会課題について主体的に考え、積極的にコミュニケーションを取ることができる若者の育成を目的に、県内の中学生・高校生が国際理解に関するテーマを自由に設定し、自らの問題意識に基づいて調査・研究した成果をチームで発表するコンテストを開催しています。

昨年度は中学生部門 8 チーム、高校生部門 9 チームが出場し、日ごろの学習や活動の成果を発表しました。生徒からは「刺激になった」「勉強になった」、指導者からは「子供たちの活動の素晴らしさに感動した」との声をいただいています。

学校での授業や地域での活動などのほか、国際交流ファシリテーターのワークショップを受けたことで課題に対する探究を深めたチームも参加しています。

中学生部門、高校生部門のそれぞれの最優秀賞受賞チームは海外スタディツアーに派遣されます。



【令和 6 年度台湾スタディツアーの学校交流の様子】

今年度は12月20日(日)朱鷺メッセ国際会議室マリナーホールで開催が決まっています。参加申し込みは7月頃に公開予定です。

詳しくは特設ページをご覧ください。



特設ページ

[https://www.niigataia.or.jp/jp/ct/000\\_presentation/index.php](https://www.niigataia.or.jp/jp/ct/000_presentation/index.php)

あわせて、国際理解教育プレゼンテーションコンテストを特集した当協会広報誌もご覧ください。

<https://www.niigata-ia.or.jp/topics/15947/>



広報誌



【実際に国際会議が開催されている  
朱鷺メッセ国際会議場のステージで発表】

## 3 国際理解教育推進支援事業

上記 2 つの事業の他、県内の国際理解教育の充実を図るため、教職員や学生等を対象に、年数回、県内各地でセミナーやワークショップを開催しています。

実際の教育現場で国際理解教育を取り入れた実践例や、多文化化する学校や教室で活用できるアイデア等を提供し、教職員等の専門性向上を支援しています。

なお、本事業は教職員が中心となって組織された国際教育研究会RINGと連携して実施しています。

### おわりに

国際社会とのつながりが一層深まるなか、地域の未来を担う子どもたちが、多様な価値観を理解し、他者と協働しながらより良い社会を築いていく力を育むことは、これまで以上に重要になっています。新潟県国際交流協会では、学校・行政・大学・地域団体との連携を通じて、国際理解教育の充実と人材育成の循環をこれからも継続して推進していきます。

新潟県国際交流協会の詳しい活動内容は、協会のホームページをご覧ください。

<https://www.niigata-ia.or.jp/>



協会 HP

[お問い合わせ]  
公益財団法人新潟県国際交流協会  
電話 025-290-5650



# インフォメーション

## ● 県立近代美術館 (長岡市)



### 企画展「描く人、安彦良和」

『機動戦士ガンダム』のキャラクターデザイナー兼アニメーションディレクターをつとめ、現在は漫画家としても活躍する安彦良和(やすひこよしかず 1947-)の回顧展。デビュー当初から最新作の漫画作品まで、1,200 点を超える貴重な作品、資料によって約 50 年の軌跡を紹介します。

- 会 期 開催中 ～ 5 月 24 日(日)
- 休 館 日 毎週月曜日  
※5 月 4 日(月)は開館し、5 月 7 日(木)休館
- 観 覧 料 一般 1,700 円 (1,500 円)  
大学・高校生 1,000 円 (800 円)  
中学生以下 無料

※( )内は有料 20 名以上の団体料金。  
※大学・高校生は学生証をご提示ください。  
※障害者手帳をお持ちの方は観覧料が免除。  
手帳をご提示ください。

### 「コレクション展 2026 年度 第 1 期」

3 つのテーマでコレクションを展示します。

- ◇ 近代美術館の名品
- ◇ 立体・彫刻の楽しみ
- ◇ 没後 10 年 久保田成子
- 会 期 開催中 ～ 5 月 31 日(日)
- 休 館 日 毎週月曜日  
※5 月 4 日(月)は開館し、5 月 7 日(木)休館
- 開館時間 午前 9 時～午後 5 時  
(観覧券販売は午後 4 時 30 分まで)
- 観 覧 料 一般 430 円 (340 円)  
大学・高校生 200 円 (160 円)  
中学生以下 無料

※( )内は有料 20 名以上の団体料金。  
※大学・高校生は学生証をご提示ください。  
※障害者手帳をお持ちの方は観覧料免除。  
手帳をご提示ください。

### 「親子ふれあいデー」

- 中学生以下の子を同伴する保護者のコレクション展観覧料が無料になります。(企画展は対象外)
- ※5 月の親子ふれあいデーは、5 月 17 日(日)です。

県立近代美術館  
所在地 長岡市千秋 3 丁目 278-14  
TEL:0258-28-4111  
URL:<https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>

## ● 県立万代島美術館 (新潟市)

### 大カプコン展

—世界を魅了するゲームクリエイション



©CAPCOM

世界的ゲームソフトメーカー カプコンは、『ストリートファイター』シリーズや『モンスターハンター』シリーズなど数多くの人気タイトルを開発し、世界の人々を魅了してきました。本展では、初期の貴重な企画書やポスター原画、体験型コンテンツ、最新技術など、ゲーム誕生の壮大なプロセスとそれに関わるクリエイターたちの想像力と実現力に迫り、日本が誇るゲーム文化を捉え直します。

- 会 期 開催中 ～ 6 月 21 日(日)
- 休 館 日 月曜日  
(ただし 5 月 4 日(月祝)は開館)
- 開 館 時 間 午前 10 時～午後 6 時  
(観覧券の販売は午後 5 時 30 分まで)
- 観 覧 料 一般 1,800 円(1,600 円)  
高校・大学生 1,500 円(1,300 円)  
※中学生以下無料  
※( )内は有料 20 名以上の団体料金。  
※障害者手帳をお持ちの方は観覧料免除。

ゲーム初心者の方にも気軽にドット絵が作成できるカプコンピクセルラボをはじめ、楽しいコンテンツが豊富にそろった展覧会です。  
\*詳細はHPでご確認ください。

県立万代島美術館  
所在地 新潟市中央区万代島 5-1 朱鷺メッセ内  
万代島ビル 5 階  
TEL:025-290-6655  
URL:<https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>



● 県立歴史博物館（長岡市）  
 県立歴史博物館 春季企画展  
 「歌川豊国と歌川派の浮世絵名品  
 —国貞も国芳も、はじまりは豊国—」

浮世絵は、江戸の最新トレンドを映すメディア。その浮世絵界を独走したのが「歌川派」です。歌川豊国を筆頭に、役者絵の国貞や武者絵の国芳、風景画の広重と、個性豊かな絵師が活躍しました。本展は、稀少な開祖豊春の浮世絵を含めて 180 点以上を公開し、歌川派の魅力を紹介します。



歌川豊国「七代目市川團十郎の三浦荒男之助」  
 文化 10(1813)年／中右コレクション

- 会 期 4 月 25 日（土）～6 月 7 日（日）
- 開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時  
 （観覧券の販売は午後 4 時 30 分まで）
- 会 場 県立歴史博物館企画展示室
- 休 館 日 月曜日、5/7(木) ※5/4(月)は開館
- 観 覧 料 一般 840 円、  
 高校・大学生 600 円、  
 中学生以下無料

※学校団体でご観覧の場合は、新潟県内の学校は無料です。事前にお申込みください。

県立歴史博物館  
 所在地 長岡市関原町 1 丁目 2247-2  
 TEL:0258-47-6130  
 URL:<https://nbz.or.jp/>

● 県立自然科学館（新潟市）  
 団体専用プログラムのご案内

県立自然科学館では、平日限定で団体のお客様向けに実演プログラムを実施することができます。理科授業や総合学習授業にお役立てください。

事前予約制となりますので、来館日の 1 ヶ月までにお申し込みをお願いします。

なお、プログラム内容については[こちら](#)をご覧ください。

※雨天時のみご来館予約の場合はご利用できません。



- 入 館 料 大人 580 円  
 小・中学生 100 円
- プラネタリウム観覧料 大人 210 円  
 小・中学生 100 円
- ※校外学習等で団体予約をした場合は、入館料、観覧料ともに無料になる場合がありますので、詳しくはお電話にてお問合せください。
- 休 館 日 火曜日（※5月5日は開館）、  
 5月11日（月）、6月15日（月）、  
 6月17日（水）
- 開館時間  
 （平日）午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分  
 （土日祝）午前 9 時 30 分～午後 5 時  
 （入館券の販売は閉館 30 分前まで）

県立自然科学館  
 所在地 新潟市中央区女池南 3-1-1  
 TEL:025-283-3331  
 URL:<https://www.sciencemuseum.jp/>



●県埋蔵文化財センター（新潟市秋葉区）  
企画展「開館 30 周年記念-地域に開いた歴史の扉-」

新潟県埋蔵文化財調査事業団が発掘調査し、現在は市町村に譲与された出土品を中心に、新潟県の歴史を紐解くうえで重要な出土品を選びすぐりで展示します。



大武遺跡から出土した銅製花瓶

- 期 日 5月30日(土)～8月23日(日) 予定
- 時 間 午前9時～午後5時
- 会 場 県埋蔵文化財センター
- 観覧料 無料
- 展示品 長岡市大武遺跡の銅製花瓶、新潟市江南区西郷遺跡の足型付土版など優品を多数展示します。

新潟県埋蔵文化財センター  
所在地 新潟市秋葉区金津 93 番地 1  
TEL:0250-25-3981  
URL:<https://www.maibun.net/>

※PDF ファイルで御覧の方は、下線部(Web ページアドレス)をクリックすると、直接該当 Web ページにジャンプしますので御活用ください。

※県ホームページからバックナンバーも御覧いただけます。  
新潟県「教育月報」で検索してください。

教育月報

発行所 新潟県教育庁総務課  
所在地 〒950-8570  
新潟市中央区新光町 4 番地 1  
電 話 025-280-5587  
F A X 025-285-3766  
E-mail : ngt500010@pref.niigata.lg.jp  
Web 版 URL :  
<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/>  
本紙に関する御意見がありましたら、お寄せください  
<無断転載を禁ず>

●新潟県民会館（新潟市）  
「木梨憲武展-TOUCH」  
SERENDIPITY-意味ある偶然



これまでの展覧会ツアーで延べ 122 万人動員した木梨憲武の3度目となる全国巡回展を新潟で初開催！アーティストとして高い評価を受ける木梨憲武の自由な表現と鮮やかな色彩で観る人を幸せにする「木梨憲武」らしい作品の数々はもちろん、新たな手法を用いた新作も登場予定です。新潟初開催の「木梨憲武展」をお楽しみに！

- 会 期 5月23日(土)～6月28日(日)
- 休 館 日 6月15日(月)
- 時 間 午前10時～午後5時  
(最終入場は午後4時30分)
- 観 覧 料 【前売券】 一般 1,600 円  
中高校生 1,200 円  
小学生 600 円  
【当日券】 一般 1,800 円  
中高校生 1,400 円  
小学生 800 円

※詳しくはホームページをご確認ください。

新潟県民会館  
所在地 新潟市中央区一番堀通町 3-13  
TEL:025-228-4481  
URL:<https://www.niigata-kenminkaikan.jp/>

にいがた  
教育の日  
KYOIKU NOV.1